



横瀬町議会だより

No.85 2010.1.15発行

- 安全で温かみのある学校へ
教育環境整備に大型補正 ②
- 一般質問**
4名が登壇 ⑥
- 知ってください！ **議会活動**
県町村議会議員研修会等に
出席ほか ⑧

11月臨時会・12月定例会



1月4日 新年初顔合わせの会

安心安全で住みよい社会を 創造するために



議長 関根 修

新年あけましておめでとうございます。

さて、第5次総合振興計画の基本構想を議決し、本年は新たな出発の年となります。その中に「絆」という理念が盛り込まれました。現代社会の混乱はコミュニティーの崩壊であり、信頼関係・絆の喪失であるそうです。これは長い間に培った社会資本の喪失であり、そのため社会を運営するために、より行財政コストがかかるという結果を生みました。

例えば外交関係で、隣国との関係が悪ければ防衛コストが膨らみます。もし良好な関係ならばこのコストはゼロに等しくなります。つまり、信頼関係・絆があれば防衛コストはかからないばかりか協力関係を築くこともできます。地域社会における人と人との関係も同じではないでしょうか。

今回の基本構想の「絆」の理念は、私たち地域にまだまだ存在しています。私たちの目指す地域社会は、この信頼関係・絆を強化し、今まで築き上げた社会資本をさらに充実することです。横瀬町が住民と協働して、安心安全で住みよい社会を創造するために、この理念が不可欠であると考えます。

結びに、今年一年が皆様にとってよい年でありますようご祈念申し上げます。



議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月の予定です。

発行：横瀬町議会 編集：議会だより編集委員会

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬4545番地

TEL 0494-25-0119

FAX 0494-23-9349

環境保護のため再生紙を使用しています

温かみのある学校へ に大型補正

11月臨時会では、提出議案 5 議案を審議し、原案どおり可決。

また、12月定例会では、提出議案 16 件を審議し、原案どおり可決しました。

大規模改修により、教室・廊下等が木質になります

政府の打ち出している緊急経済対策・地域活性化事業を受けて、補正予算に大きな事業が計上されました。従来の耐震化への補助率は30%程度と地方自治体に負担を強いるものでしたが、今回は70%に近い補助率となっています。予算執行は平成22年度に繰り越され、5月～8月に実施される予定です。

昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物を整備する公立施設は7つありますが、この工事により、横小第1校舎（木造）と横中木工金工室を残すのみとなります。

なお、主な質疑として「耐震補強と大規模改修はどのように進められるのか」に対し「12月で繰越明許し、4月ごろ入札、5月から8月にかけて実施する予定です。プレハブの校舎も設置しなければなりません」との答弁がありました。

11月臨時会

11月13日

横中、耐震工事等に3・3億円
平成22年5月より施工予定

工事年度	施設名	工事金額	国からの補助率
H12年度	横小 第2校舎耐震補強工事	2,047万 5,000円	31%
H13年度	横中 体育館大規模改修及び校舎耐震補強工事	1億7,528万 2,510円	32%
H20年度	横小 第3校舎耐震補強工事	4,076万 9,400円	50%
"	横中 講堂解体工事	813万 3,300円	29%
H22年度	横中 B棟校舎耐震補強工事	3億3,409万 9,000円	68%
"	横中 A棟大規模改修・校舎耐震補強工事		
	合 計	5億7,875万9,210円	

教育環境整備

予防策の啓発とあわせて

新型インフルエンザ対策に1000万円

今回の補正で町は、国の基準である妊婦や1歳～小学3年生等の優先接種対象者のうち生活保護世帯及び町民税非課税世帯に属する者に対して助成することとしました。

さらに、町の単独事業として子育て支援の一環及び低年齢の

12月定例会

12月9～10日

平成22年4月1日より実施予定

全員賛成で可決

子育て世代に朗報！

「こども医療費が15歳まで無料化に」

横瀬町こども医療費支給に関する条例の一部改正

横瀬町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正

かねてより子育て世代から強い要望があったこども医療費・ひとり親家庭児童の医療費無料化の年齢引き上げについて、従来の「通院・入院とも12歳」を「15歳」とするものです。

15歳までの無料化については、既に皆野町・小鹿野町で実施されています。横瀬町でも町民の要望があり、議会の一般質問でも取り上げられ、執行部の決断で実施することになりました。秩父市も12月議会と同様の承認をされたとのこと。

このように秩父地域は先進的であり、子どもを大切にする土地柄が出ています。

なお、主な質疑として「県下ではらつきがあり過ぎるのはおかしい。県の制度として引き上げるべきではないか」に対し「横瀬町は一步一歩上げてきたが、本来、国が子育て支援としてやるべきこと。県、国に要望をしていきます」との答弁がありました。

子どもに感染が拡大し、重症化していることから、1歳から小学校6年生までに相当する年齢の子どもに対して全額助成することとしました。

なお、主な質疑として「新型インフルエンザ対策の助成について伺う」に対し「1回目の接種が3600円、2回目が2550円で合計6150円となり、これを補助するものです」との答弁がありました。

横瀬町職員の給与に関する条例の一部改正

横瀬町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づいた国家公務員の給与の改定に準じ、職員の住宅手当の一部を廃止します。

反対です

大野隆雄

内需拡大、経済活性化に逆行

11月臨時会でも労働条件の低下があり、今回も低下であります。真摯に行政サービスに努める我が町職員給与を下げるのは納得がいくものではありません。特に今回の改悪により若い人に影響があるのは問題です。若い人は計画的に家庭を築き上げていくものではないでしょうか。今回の改悪は、内需拡大、経済活性化にも逆行するものであり、現状を維持すべきであります。

賛成です

町田勇佐久

法改正に基づいた条例改正

人事院勧告による改正点は職員の所有にかかわる住宅で、新築または購入の日から5年を経過しない住宅への手当の改正ですが、民間企業を見ても公務員と同様の趣旨で居住手当を支給している企業は、大企業以外の一般企業では少ないと思います。

平成16年人事院の白書を見ても、住居手当は当面という考えでもあったようです。法の改定に基づいた条例改正であり、妥当と考えられます。

主な質疑

横瀬町職員の給与に関する条例の一部改正

問 前議会でも期末手当の減があった。今回の住居手当の削減により、若い職員の生活設計や士気にも影響しないか。

答 今、民間も大変な時期なので、給料が下がっても当役場でやる気なくなる職員はおりません。

子育て関連

問 子育て支援でもあることも医療費の財源はどのくらいか。これを決断した理由は何か。

答 来年度は3500万円程度増えると考えています。前回、中3までの考えはありましたが慎重を期し、小6まで実施しました。このたび少子化対策として決断しました。

すくすく元気に



問 子育て応援手当がなくなり、子ども手当になるということだが、連絡はきているか。

答 報道等では聞いており、国・県へ問い合わせをしていますが、まだ連絡がないという状況です。

定住自立圏構想

問 定住自立圏構想の事業は、当面6項目だが5年後は3倍となり、町村に1000万円の補助もあるが、町の持ち出しも出る。新年度はどんな状況か。

答 定住自立圏構想の交付金が、秩父市に約4000万円残っていて、当面はそれを使って進めたい。その後は、横瀬町の負担も出てきます。その時は議会に相談したい。

賃貸用地代

問 賃貸用地代が下がっている理由は何か。

答 3年ごとの固定資産評価がえに対処したものです。

後退用地

問 後退用地について町の考え方はどうか。

答 都市計画区域内において1・8メートル以上4メートル未満の道路を解消するため建物を新築、建てかえる時などに道路中心線から2メートルの後退部分を買収・提供していただき、安全な道路に整備していきたいと思っています。

姿地区の道路整備

問 姿地区の道路整備は、将来の住宅地を見据えてやってほしい。他地区でも集中的な取り組みとして実施してはどうか。今後も推進していく考えか。

答 道整備交付金を特定財源に、姿地区路線など5年計画で道路整備を行なっています。平均して計画的に行なっていますが、集中的な取り組みについては検討したいと考えています。



改良済みの町道

第5次横瀬町総合振興計画基本構想

問 第5次横瀬町総合振興計画基本構想について、今後10年間のまちづくりの重要なものだが、基本である平和の文言がないのは、担当課の平和への意識が薄すぎるのではないか。

答 構想の中の「協働・交流」の分

野で「人権の尊重、平和意識の啓発」という施策を掲げており、平和ということを大きく捉えて将来像の中に集約しています。

◆補正予算に関する質疑◆

町税

問 歳入で町税に増額補正があるのは、当町予算の見込みが低かったのではないか。

答 主な増額要因としては、町民税（個人）が年金額の改定による増加分があったためであり、固定資産税では償却資産税の増加分、世界的な不況になる以前の企業での設備投資によるものです。

都市計画総務費

問 後退用地等整備事業について説明してほしい。

答 狹隘道路沿いの建築行為に係る後退用地部分の取得をしていく事業です。

防災対策費

問 災害対策費の全国瞬時警報システム整備とは何か。

答 防災無線に併設する警報システムの整備促進事業で、県から補助金が出ます。

横小環境整備事業

問 横小環境整備事業は何をするのか。

答 防犯カメラ等を設置します。

提出議案と審議結果

《11月臨時会》

■平成21年度補正予算

- ・一般会計

■条例の一部改正

- ・横瀬町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- ・横瀬町長及び副町長の給与等に関する条例
- ・横瀬町教育委員会教育長の給与等に関する条例
- ・横瀬町職員の給与に関する条例

以上、可決

《12月定例会》

■平成21年度補正予算

- ・一般会計

歳入歳出それぞれ4,254万7,000円を追加、総額は37億6,016万1,000円。
繰越明許費で横瀬中学校舎耐震補強整備事業費が含まれています。

- ・国民健康保険特別会計
- ・水道事業会計

■条例の一部改正

- ・横瀬町職員の給与に関する条例
- ・横瀬町子ども医療費支給に関する条例
- ・横瀬町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例
- ・横瀬町在宅重度心身障害者手当支給条例
県の支援事業として、在宅の超重度障害児に特例により福祉手当を支給するものです。
- ・横瀬町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例

■規約の一部変更

- ・埼玉県市町村総合事務組合規約

■基本構想

- ・第5次横瀬町総合振興計画基本構想

■指定管理者の指定（平成22年4月更新）

- ・横瀬町地域振興拠点施設、横瀬町観光案内所…（有）果樹公園あしがくぼ
- ・横瀬町総合福祉センター
…社会福祉法人 横瀬町社会福祉協議会
- ・横瀬町コミュニティ防災センター
…横瀬町第13区

■顕彰

- ・横瀬町自治功労者の顕彰について

■意見書

- ・子宮頸がん撲滅のための施策を求める意見書
以上、可決

意見書
子宮頸がん撲滅のための
施策を求める意見書

女性特有のがんの一つである子宮頸がんは定期的に検診を受けていれば、早期発見で治すことができます。またHPV予防ワクチンの接種により、ほぼ100%予防できるとされています。

そこで、政府において子宮頸がんを撲滅する施策に取り組むことを強く要望するため、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣に意見書を提出しました。

委員会報告

所管事務調査 総務文教厚生常任委員会

学校教育施設を整備

中学校校舎A棟の大規模改修とA棟・B棟の耐震補強工事において改修される箇所は、屋上壁、給排水設備、電気配線、トイレ（多目的トイレ）各室です。あわせて廊下等の木質化を図り、体育館の屋根に太陽光パネルを設置します。

また、学校給食調理場の新築工事は、小学校地内に食品加工場を鉄骨平屋建てで建設し、平成22年4月より使用開始予定で、最新の設備で安全な給食調理が実施されます。



建設中の学校給食調理場

所管事務調査 産業建設常任委員会

道の駅 65万人が利用

平成21年4月～10月末までの道の駅「果樹公園あしがくぼ」の経営状況について、次のような説明がありました。

■施設利用者数 65万3,000人

（内訳）

直売所	19万5,900人
食堂	9万7,900人
ギャラリー	10万3,500人
その他（交流広場・トイレ）	25万5,700人

■売り上げ金額 2億3,477万8,000円

（昨年度比5.6%、1,253万5,000円増）

売り上げ金額が昨年度比より若干上回った要因として、4月・5月の好天と、芝桜との関係が挙げられるとのことでした。年度末に向けて閑散期に入りますが、この状態で推移していくと平成21年度も過去最高であった昨年に近い実績が残せるのではないかとのことでした。支配人をはじめ、各職員が地道に営業活動に努めていることを実感しました。

一般質問

町政を問う

12月定例会

教育

Q 学校教育のあり方について

A 知育・徳育・体育の充実を目標
にしている

藤澤治美議員

問 次代を担う子どもたちの基礎学力不足の改善策、30人学級や学級支援員の効果及びひとり立ちができる人間になるための心の教育のあり方について伺う。また、県立高校の廃校や中退者の有無について伺う。

答 教育長 30人学級を行なっているのは埼玉県内で2市です。現在、国の基準では40人学級であり、町では小学1・2年生と中学1年生は35人学級、ほかは40人学級で行なっています。学級支援員は現在4名で多忙なため、雇用



横瀬町の教育

促進法の適用があれば10名まで増員したいと考えています。そして、知育・徳育・体育の充実を目標に12教科・領域を習得しつつ得意分野を伸ばして

いきたいと思っています。

また、高校が廃校となった影響はなく、中退者はいませんが中卒でも職業にきちんとついてほしいと願っています。

◆インフルエンザについて

問 インフルエンザについて
当町の現状を伺う。

答 健康づくり課長 発生状

況については、感染症発生動

向調査によって把握しており、町独自で把握できる体制にはなっていない。

答 教育長 小中学校で7クラスの学級閉鎖がありまして。301名の発生で35・5%です。

答 参事 保育所については1件の発生もありません。

消防

Q 消火栓設備の設置状況と
本年の実績は

A 消火栓231カ所のうち、
本年の消火栓設備の増設は
5地区9セット

大野隆雄議員

問 消火栓設備の設置状況と
本年実績について伺う。さら
に火災に対処できる配置か、
訓練はどうか、防火水槽の設
置状況、本年実績と今後の計

答 画はどうか。
総務課長 平成21年現在、
町内の消火栓は231カ所に
設置され、本年の消火栓設備
の増設は5地区9セットです。

水利基準は140メートル以
内に1カ所の設置ですので、
全域では整っていません。で
きるだけ設置していきたいと
考えています。防火水槽は1
81カ所、本年は1地区に設
置しました。防災訓練につい
ては今後、啓蒙していきます。

◆新型インフルエンザへの対応

問 インフルエンザの予防注
射、ワクチン確保の現状、費
用負担、資格証明書発行世帯
に対しての対応などはどうか。

答 健康づくり課長 国の事
業実施要綱により、ワクチン
の供給流通を行なっています。
既に医療従事者、基礎疾患
を有する

者、妊婦、1
歳〜小3ま
での接種が
始まってい
ます。



横瀬町では生活保護・町民税非課税世帯、1歳～小6まで全額助成しています。資格証明書発行世帯は受診抑制を懸念し、短期保険証に切りかえ、一般被保険者と同じに受診できます。

◆猿害等の被害対策

問 猿害ほか獣害等の被害対策についてどうか。

答 振興課長 猿追い払い用火火は11月末で116箱出しています。猿は横瀬町に4群生息し、人間との分断地域がなくなっています。人間と野生動物は、すみ分ける以外にありません。

今後も猟友会への捕獲委託・花火の配付・防除網への補助を実施してまいります。

◆ホタルでまちおこしを

問 ホタルでのまちおこしについてどう考えるか。

答 産業統括 ホタルは夢とロマンあふれる魅力ある生物ですが、ある行事で200匹盗まれ全滅したこともあり、難しいです。地域コミュニティやNPOで行なうのがいいのではないかと思います。

予算編成

Q 新年度の予算編成は

A 慎重に対応していく

若林清平議員

問 平成22年度予算編成の基本方針と税収見込みについてどのように考え、取り組んでいるのか。また、大規模事業の概要と新規事業については、どのように考えているのか。

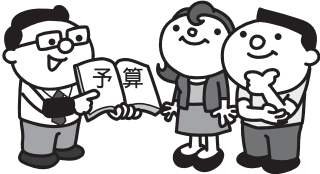
さらに、国・県の動向と町民要望の具体化についてどのようにとらえているのか。

答 町長 民主党政権が発足しましたが、日本経済はデフレ状況にあり、国内の景気は失速する懸念があります。このような中で国の動向がつかみにくい状況下にあります。

今後慎重に国・県の動きを見詰めつつ、

新年度に向かっていき

ます。また、町民からの要望では、上水道の新設等が



ありますが、大胆かつ慎重に判断していきます。

答 副町長 地方交付税など国の方針が不透明な状態にあります。基本方針としては選択と集中に徹底して、優先度の高い事業から予算配分していきます。

大規模事業は平成21年度に前倒しして予算化できたため、平成22年度は、計画づくりから進めていきたいと考えています。新規事業としては、芦ヶ久保地区の水道事業や町営住宅の老朽化対策があります。

◆町の将来展望は

問 今後、少子化及び高齢化が進行し、さらなる人口減になる。町の活性化、産業の振興、住宅対策等についてどのような考え取り組んでいくのか。

答 副町長 少子高齢化は先進国共通の課題です。町では

安全

Q 安全なカーブミラーの設置を

A 曇らないカーブミラーの導入を検討します

若林スミ子議員

保育環境や保健医療の充実を目指し、医療費の無料化も中学校3年生まで拡大していきます。国では子ども手当の創設を目指しています。また、高齢者対策としては、健康で長生きしていただくことが重要です。

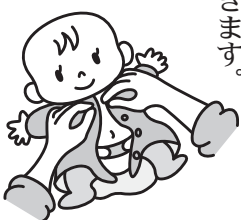
問 町道に設置してあるカーブミラーは、冬季は特に鏡面が見づらく「危ない」と思うことが時々ある。また、設置されてから数十年たっているのかと思うほど腐食の進んでいるものを見かけるが、管理台帳を作成してはどうか。

答 総務課長 日ごろ、カーブミラーの鏡面磨きを老人クラブや交通安全母の会等で実施していただいています。近年では、曇らないカーブミラーがあることから導入を検討していきます。また、保守管理は台帳等を作成して実施していきます。

◆子育て施設の充実を

問 乳幼児を連れて外出される保護者が気軽に立ち寄り、授乳やおむつがえができるような「赤ちゃんの駅」を設置してはどうか。

答 参事 来年度、保育所・役場・児童館等の公共施設に、おむつがえ用ベッドに加えてカーテンで仕切ったスペースを確保し、授乳のできる「赤ちゃんの駅」の設置を考えていきます。





知ってください! 議会活動



県町村議会議員の研修会が開催され、横瀬町議会からは10名が出席しました。「ご近所から日本を変えよう」という講演テーマで、ご近所の底力で住民主導のまちづくり、またコミュニケーション力をつけるノウハウ等、90分にわたり熱弁を振るわれました。

元NHKアナウンサー27年のキャリアから、話が大変聞きやすく勉強になりました。

埼玉県町村議会議員研修会
 日時 平成21年10月16日(金)
 場所 三芳町文化会館コピスみよし
 講師 堀尾正明氏
 (フリーアナウンサー
 日本体育大学客員教授)



平成21年度横瀬町消防団特別点検を参観
 日時 平成21年11月8日(日)

横瀬町消防団特別点検が、横瀬小学校第2グラウンドで開催され、横瀬町議会議員10名が参観しました。

天気も快晴で、点検者である加藤町長のもと、若林団長以下123名の団員が参加し、部隊点検、機械点検、器具点検、ポンプ操法競技会、放水演習等が実施されました。

特にポンプ操法競技会では、隊員の皆さんが真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

◆ポンプ操法競技会受賞◆
 第1位(町長賞) 第5分団
 第2位(議長賞) 第4分団



秩父デモセンターはアジア最大規模を誇るデモンストレーションエリアです。最新視聴覚機器を完備した全天候型観覧席で各種プログラムを見て、その後説明を受けました。その建設機械の大きさに圧倒されました。

「現在、日本の鉱山や建設現場をはじめ、世界各国で稼働しています」との説明がありました。横瀬町議会より9名が参加しました。

秩父町村議員クラブ研修会
 (小鹿野町を除く4町村)
 日時 平成21年12月21日(月)
 場所 キャタピラー・ジャパン(株)
 秩父デモセンター

議会だより編集委員会

委員長	藤澤 治美
副委員長	若林スミ子
委員	新井 勝之
委員	大野 隆雄
委員	町田勇佐久
委員	大野 守

議会だより編集委員会では、きちんと物が言える場です。町民の皆様読んでいただける議会だよりにしていきたいと思えます。(F)

編集後記



平成22年(2010年)はとら年で明けました。強く、優しく、新しく変化していけそうな予感がします。

地球温暖化の加速が叫ばれて久しく、日本の四季の大切さを守りたいとの意識も働きます。

人間は動物ですから、体を動かすようにできています。頭脳も同様です。どちらにもフル回転で光を目指して、この荒波を乗り切ってみませんか。体得した経験は無駄になりません。子どもをしかれる親、しかられたことを身につけられる子ども。ジャスト・タイミングを逃してはなりません。